

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (藤田 宜久)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約7.0億円
		特定交通安全施設等整備事業 (主)福良江井岩屋線	北淡町室津	うち用地補償費	約4.4億円
所在地				着工予定年度	完成予定年度
北淡町室津				平成17年度	平成21年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・自動車、歩行者交通量が多く、人・車の輻輳による危険性の高い当該路線に、歩道を整備し、歩車の分離を図ることにより交通安全対策を推進する。	歩道整備(片側) L = 1, 4 0 0 m W = 2 . 0 m (2 . 5) m 現況計画 W = 1 . 5 m (負担割合 国1/2 県1/2)

評価視点	
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車6,579台/日、歩行者168人/日、自転車104台/日) ・過去5年間に自転車・歩行者の交通事故(4件)が発生している。 ・沿道には、室津港、室津海水浴場(シーズンには約5,000人の利用客)、民宿、北淡診療所、老人福祉センター(400m)等があり、室津小学校、北淡中学校の通学路としてりようされている教育施設があることから多様な利用状況にある。 ・連続性確保(前後の整備状況・・終点側整備済み 起点側集落入口接続) ・住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道設置の必要性が求められている。 ・室津港の環境整備が進められ、当該事業と一体的に道路整備を行うことにより地域の環境整備を図る。 ・当該路線において、本四道路を迂回する大型車両が多く(約200台)、学識経験者から構成される本四道路活用研究会において、現道における安全施設等の対策が検討されている。 ・大型車混入率(44.0%) ・大型車両の増加に伴い、地域住民からも当該路線の安全性確保等の強い要望がされている。
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境にやさしい構造とする。併わせて高齢者や身体障害者等の移動の円滑化の向上に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に教育施設、福祉施設などの公共施設があるとともに、室津港や室津海水浴場を利用者する漁業関係者・レジャー客など多様な利用状況にある。特に夏の海水浴シーズンにおいては、日常の歩行者交通に加え海水浴場と民宿を往来する交通が多いことから非常に危険な状況となる。 ・室津港の環境整備との連携により、一体的な地域の環境整備が図れる。